

行政評価シート（事務事業評価）		評価年度	26年度
事業名	生涯学習フェスタ事業	担当課	教育課
細分化した事業名	生涯学習フェスタ事業		

1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

第6次長期総合計画での目的体系	基本方向	魅力あふれるまちづくり	
	政策	いつまでも生きがいを持って暮らせるまちづくり	
	施策	生涯学習の推進	
関連する個別計画等	社会教育計画	根拠条例等	韮崎市公民館条例

2 計画(PLAN):事務事業の概要

事業の目的	①生涯学習に係る活動の場を提供することにより、市民一人ひとりの生涯学習への意欲を高めるとともに学習活動への参加を促進するための契機とする。 ②生涯学習を推進する公民館等に対する支援及び指導 ③多種多様な学習機会を提供し、多くの市民に参加してもらい、生涯学習への関心を高め、生涯学習まちづくりに繋げていく。
事業の手段	①生涯学習フェスタ実行委員会へ委託 ・実践発表>モデル分館およびモデル校の活動内容の報告 ・記念公演> HIROMI（ひろみ）によるマジック及び宝井一凜（たからいいちりん）による講談 ②・生涯学習推進モデル分館及びモデル校への補助金交付（実施各1件）補助金額各10万円 ・地区公民館への生涯学習推進事業実施補助金交付（実施11件）補助金額75.5万円 ・分館への生涯学習まちづくり学習会補助金交付（実施90件）補助金額135万円
事業の対象	①市民 ②生涯学習推進モデル指定分館（大草町西割分館） 生涯学習推進モデル指定校（韮崎西中学校） 地区公民館及び分館

3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

		23年度	24年度	25年度
A	事業費 (千円)	4,046	4,340	4,231
財源内訳	国・県支出金			
	その他(使用料・借入金ほか)			
	一般財源	4,046	4,340	4,231
B	担当職員数(職員E) (人)	0.27	0.38	0.38
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	1,841	2,541	2,467
D	総事業費(A+C) (千円)	5,887	6,881	6,698
主な事業費用の説明	生涯学習フェスタ実行委員会（第35回生涯学習推進の集い・第58回文化祭）への事業委託料 1,926千円、地区生涯学習推進事業・生涯学習モデル校等への補助金2,305千円が事業費の全てとなっている。			

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、23年度(6,819千円)、24年度(6,687千円)、25年度(6,491千円)を使用しています。

4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			23年度	24年度	25年度
活動指標	1 フェスタ発表件数	(団体)	47	48	45
	2 生涯学習推進モデル補助件数	(件)	2	2	2
	3 地区公民館への補助件数	(件)	11	11	11
妥当性	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない				
上記活動指標と妥当性の説明	1	文化協会、公民館サークルの重要な発表の場となっているので、妥当である。			
	2	モデル学校、公民館がテーマを決めて発表し、その後の学校、公民館活動に活かされているので妥当である。			
	3	活動費を補助することにより、地域で特色ある自主的な活動が展開された。			

5 評価(CHECK): 事務事業評価 (アウトカム=成果・効果)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			23年度	24年度	25年度
成果指標 もしくは まちづくり 指標	1	アンケート満足度 良かった/回収数(%) 94人/110人	74.37	70.72	85.5
	2	参加者数 延べ人数	1,272	1,732	1,415
	3	参加者一人当たりコスト 開催経費/参加者数(円) 1,926千円/1,415人	1,361	1,126	1,361
成果		<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない			
上記指標の妥当性と 成果の内容説明	1	参加者数は減少したが、参加者の満足度は上昇した。			
	2				
	3	文化祭との共同開催により会場費等の経費を節減したが、参加者の減少によりコストが1人当たり235円上昇した。			

事務事業総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成
----------	--

6 改善(ACTION): 今後の事務事業の展開

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 拡大(コストを集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善(事務的な改善を実施する) <input type="checkbox"/> 全部改善(内容・手段・コスト・実施主体等)の見直しが必要 <input type="checkbox"/> 縮小(規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する) <input type="checkbox"/> 廃止(廃止の検討が必要)
事務事業の改善案	改善の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)
	26年度の改善計画(今後の事業展開説明) ・文化部門の発表については、誰もが参加・発表型から選択して見ていただくための質の高い舞台づくりを検討する時期である。 ・小中学生の作品入賞については、各学校の受賞バランスより個人の実力を重視する方向を検討する。
過去の改善経過	①平成13年度は文部科学省の委託による「生涯学習まちづくり全国大会」も合わせて開催した。 平成21年度から「韮崎市文化祭」と同時開催とした。 ②平成17年度より補助金額を減額し、生涯学習バス補助金を廃止した。
課長所見	空席が多い発表会は、自主努力により質の高い発表会となるよう努力が必要である。